

NISAが範とする英国ISAの最新事情
～ライフタイムISA/LISA(第四のISA)とイノベティブ・ファイナンス型
ISA(第三のISA)は導入・承認が遅れ、株式型ISA(第二のISA)は不調～

商品企画部 松尾 健治
窪田 真美

※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

英国「第四のISA」のライフタイムISA(LISA)が4月6日の導入前に準備が遅れている

2017年4月6日に英国で導入される「ライフタイムISA/Lifetime ISA/LISA」の準備が遅れている
(*ISA…Individual Savings Account/個人貯蓄口座の事で日本のNISAが範とするもの)。



ライフタイムISAは、初めての持ち家購入および退職に向けての資産形成を支援する若年層向け貯蓄支援策である。18歳以上40歳未満が口座開設を出来て、毎年4000英ポンド(約56万円)までの積み立てに対して25%の政府補助金が上乗せされて、さらに、運用時・給付時非課税となる(*60歳前に住宅購入以外の目的で引き出した場合、補助金を失い手数料がかかる～後述※1参照)。

英国のライフタイムISA/Lifetime Individual Savings Account/Lifetime ISA(LISA)の概要

2017年3月9日現在

項目	英国のライフタイムISA/Lifetime ISA(LISA)の概要
目的・仕組み	若者の初の持ち家購入及び退職に向けての貯蓄・投資を支援する。専用ISA口座を開設・積み立てると、 英国政府からの補助金(25%)が各年、上乗せされて、積み立てた額と補助金の両方が非課税となる(利子含む)。
制度を利用可能な者	18歳以上 40歳未満 (under the age of 40)の居住者等(個人、口座開設時)。 ・住宅購入目的の場合、初めての住宅購入で、住宅価格は45万英ポンド(約6300万円)まで。共同購入可(補助金は家単位でなく各個人に支給)。
金融機関	<通常のISA(レギュラーISA)と同じ> 銀行や住宅金融組合(Building society)など。
非課税対象商品	<預金型ISA・株式型ISAと同じ(*イノベティブ・ファイナンス型ISAとは異なる)> 株式、投信、債券、預金、MMF等
非課税貯蓄枠	個人の積立は 毎年4000英ポンド(Pay in up to £4,000 each tax year)/約56万円まで(月額の上限なし)。 各年、積み立てた額(利子等含む)の25%相当を英国政府が補助金(bonus/賞与・手当)として 上乗せ拠出(年1000英ポンド/約14万円まで、月額の上限なし)。 *左記は個人1人につきで、夫婦世帯では2倍の額となる。 *ライフタイムISA以外も含めたISA全体では、年15240英ポンドから20000英ポンド/約280万円へ引き上げ(2017年4月6日以降)。
貯蓄可能期間	開設後、 50歳の誕生日を迎えるまで (up to age of 50)。
非課税期間	無制限
途中売却	住宅購入の場合、口座開設から1年経過後、引き出し自由。 60歳以降(after the age of 60)、目的にかかわらず、全額でも1部でも(補助金含む)引き出し可(非課税)。 住宅購入以外の目的で60歳より前に引き出す事も可能だが、25%の補助金を失い(early withdrawal charge)、5%の手数料がかかる。当初30日のキャンセル期間あり。
口座開設数	<通常のISA(レギュラーISA)と同じ> 拠出できるのは各年1口座
導入時期	2017年4月6日(2016年3月16日に財務省が初めて表明)
利用者数など	参考: 2015年12月1日より導入された「Help to Buy ISA/補助金付住宅資金貯蓄」の利用者は25万人、うち75%が30歳以下(2016年2月4日公表)
その他	2017/2018課税年度中に限り、「Help to Buy ISA」口座の全資産をライフタイムISA口座へ移管可(当年度のライフタイムISA非課税枠にカウントされず)で、移管された資産全額につき、25%の補助金が支給される。

(出所: 英国政府発表資料より三菱UFJ国際投信商品企画部が作成)

2017年3月3日付FT紙は「ライフタイムISAはどこで買える？ 銀行やプラットフォームの多くでは口座が開設出来ない/Where can I get the new Lifetime Isa?」と言う見出しで次の通り報じていた。

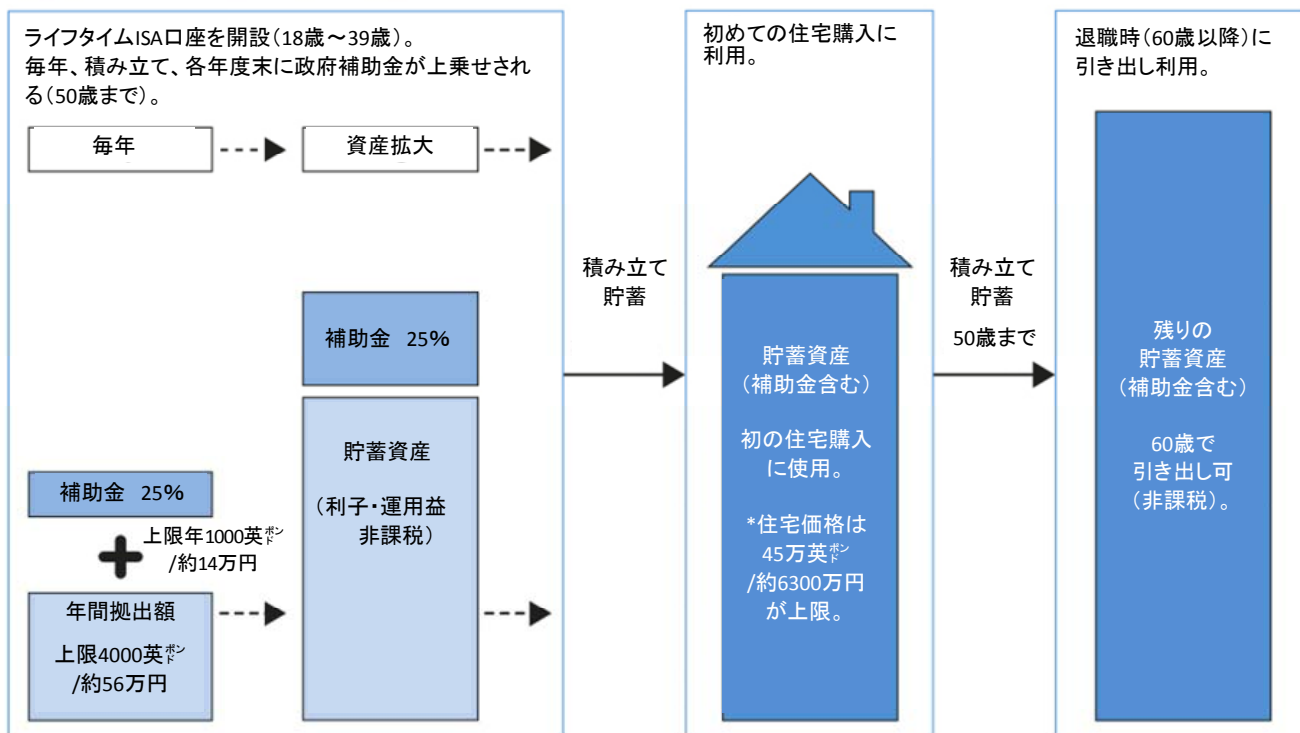
「2017年4月からライフタイムISA /LISA 口座を開こうとしていた人は、金融機関から出来ないと聞いてがっかりしている。金融当局によるLISA 提供者向けの販売規則が3月中旬まで入手できず、税当局による細則最終版も確定していない等の理由である。パークレイズやロイズ、スタンダード・ライフ、フィデリティなどLISAを提供すると見込まれていた金融機関は、『4月には提供できないだろう』と回答、ナットウェストやHSBCはLISA口座を提供するかどうかについてコメントを控えた。専門家の中には、『住宅と退職という2つの貯蓄目的は、投資戦略も異なるため、両立しない』と言う人もいる。スタンダード・ライフは、『LISAは便利だと思う。しかし、大半の人にとってベストな長期の資産形成は職域年金制度だろう。』と述べた。適切にリスクの警告を構築する時間も必要となり、LISA 施行にかかる技術的な障壁は大きい。」(以上は抜粋抄訳、原文URLは後述[参考ホームページ]①)。

※1:英国個人貯蓄口座「ライフタイムISA/Lifetime Individual Savings Account/Lifetime ISA(LISA)」…若年層向け貯蓄支援策として2016年3月16日、英国のオズボーン/Osborne 財務相が2016年度の予算演説で導入する事を初めて表明したもの(2016年3月22日付日本版ISAの道 その136及び2016年10月3日付日本版ISAの道 その158～URLは後述[参考ホームページ]②・③参照)。

2017年4月6日より導入されるライフタイムISAは18歳以上40歳未満の英国居住者等が、職場または直接、銀行や住宅金融組合などの金融機関を通じて口座開設・積み立てを行うものだ。



ライフタイムISA (2017年4月導入)



*ライフタイムISAは、通常のISA(レギュラー/アダルトISA)や「Help to Buy ISA」との併用も可で、ISA全体の拠出上限額は年2万英鎊/約280万円(2017年4月6日から)。

*住宅・年金以外の目的で引き出しはいつでも可能だが、その場合に政府補助金は返済かつ5%の手数料がかかる。

(出所: 英国政府発表資料より三菱UFJ国際投信商品企画部が翻訳・作成)

英国のISAには、預金型ISA/Cash ISA(*2011年11月1日より導入されたジュニアISA、2015年12月1日より導入されたHelp to Buy ISA/補助金付住宅資金貯蓄を含む)、株式型ISA/Stocks and Shares ISA(含むジュニアISA)、イノベティブ・ファイナンス型ISA/Innovative Finance ISA/IF-ISA/P2P Isasと、既に三種類のISAがあるので(*「ISAファミリー/the ISA family」と呼ばれている)、ライフタイムISAは「第四のISA」となる。Help to Buy ISA/補助金付住宅資金貯蓄は2015年3月30日付日本版ISAの道その95、イノベティブ・ファイナンス型ISA/Innovative Finance ISA/IF-ISA/P2P Isasは2015年11月2日付日本版ISAの道その119を参照(URLは後述[参考ホームページ]④⑤参照)。

LISAは英国ISAで唯一、積立投資が前提となる。若者の初の持ち家購入及び退職に向けての貯蓄・投資を支援するもので、18歳以上40歳未満の英国居住者等が専用のLISA口座を開設・積立をすると、50歳の誕生日を迎えるまで最長で32年間の利用が可能となる。

毎年、拠出額の25%が英政府から補助金として上乘せされ、住宅購入や退職の備えなどに利用する事が出来る。積み立てた額および補助金、口座内で発生した利子・運用益を含め非課税となる。積立額は、年最大4000英鎊/約56万円、補助金は年最大1000英鎊/約14万円、月間の上限額は設定されない。

60歳以降、全額または一部(補助金含む)を自由に引き出す事が出来る。住宅購入の場合は、もっと早く、口座開設から12カ月経過後いつでも引き出し可能だ。住宅購入以外の目的で60歳より前に引き出す事も可能だが、25%の補助金を失い(early withdrawal charge)、5%の手数料がかかる。ただ、口座を閉鎖する事なくその後も積立は出来る。これは、LISAでは、住宅購入や退職に備えてだけでなく、車購入や子育てなど様々なライフイベントに利用し、かつ長期的な資産形成をも支援する目的で設計されているからである。

英国「第三のISA」のイノベティブ・ファイナンス型ISAは承認が遅れている

2017年4月6日導入予定のライフタイムISA/LISAは「第四のISA」と言われるが、昨年2016年4月6日に導入された英国「第三のISA」のイノベティブ・ファイナンス型ISA/Innovative Finance ISA/IF-ISA/P2P Isasも遅れている。イノベティブ・ファイナンス型ISAを扱う金融機関は、認可されたP2Pレンディングプラットフォーム会社であり、当初、大手Zopa/ゾパ、ファンディング・サークル/Funding Circle、レートセッター/RateSetter等になると見込まれていた。しかし、2017年2月時点、実際にイノベティブ・ファイナンス型ISAを設立したプラットフォーム会社はランドベイ/LandBayとレンディングワークス/Lending Worksの2社に過ぎず、大手プラットフォーム会社は英FCA/金融行為規制機構の承認待ちとなっている。イノベティブ・ファイナンス型ISAの詳細は、2016年11月28日付日本版ISAの道その164~URLは後述[参考ホームページ]参照⑥)。

2017年2月22日にFT紙は次の通り報じていた。

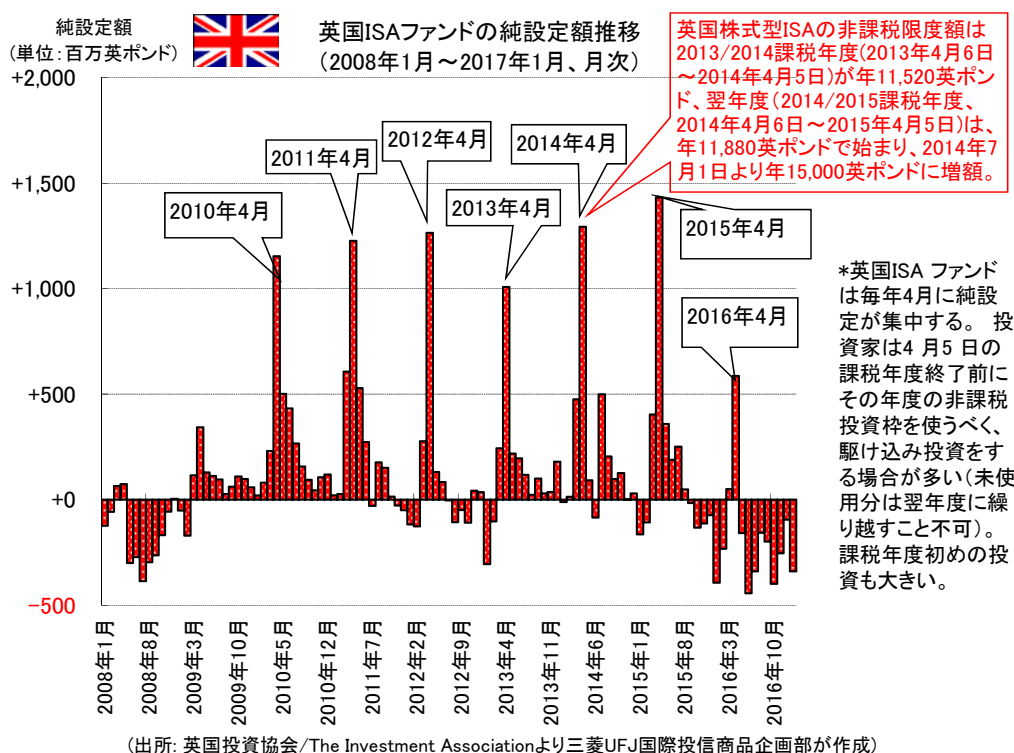
「昨年2016年4月、公式に設立されたにもかかわらず、イノベティブ・ファイナンスISAが事実上利用出来ず、投資家は失望している。当時、認可申請書が殺到したが、1年経過してもまだ、FCAは大半のP2Pローン貸し手を承認していない。三大プラットフォームのZopa/ゾパ、ファンディング・サークル/Funding Circle、レートセッター/RateSetterも承認していない。その為、新しい年度が始まる2017年4月のISAシーズンに向けイノベティブ・ファイナンスISA設立が間に合わない。…(略)…。P2Pレンディング会社の間で論争がなかったわけではない。最近、FCAは、経験や知識不足の投資家がP2Pレンディング商品に群がっている懸念について、P2Pレンディング業界へコンサルテーション・ペーパーを公表した。…(略)…。昨年12月に規制当局は業界に向けて厳し

い規則を課す計画を表明した。業界は、投資家へ本当のローンのパフォーマンスを隠すと言う透明性の無い方法を行う事があった為だ。現時点で認可され、イノベティブ・ファイナンス ISA を設立したのはランドベイ (LandBay)と レンディングワークス(Lending Works)の 2 社だけである。この 2 社では、合わせても英国 P2P 市場の 1%に満たない。」(以上は抜粋抄訳、原文 URL は後述[参考ホームページ]⑦)。

英国「第二の ISA」の株式型 ISA(含むジュニア ISA)でのファンドは英国の投信全体の傾向と同様、軟調推移

新型 ISA のライフタイム ISA/LISA(第四の ISA)とイノベティブ・ファイナンス型 ISA(第三の ISA)は導入・承認が遅れているが、株式型 ISA(第二の ISA)は今、どうなっているだろう(*第一の ISA は預金型 ISA)。

英国の投信会社とファンド・プラットフォーム 5 社が英国投資協会に提供する ISA ファンドのデータを集計したものを見る(URL は後述[参考ホームページ]⑧)。最新 2017 年 1 月の ISA ファンドの純設定額(=設定-解約)は-3.4 億英ポンド(約-446 億円)と 2016 年 5 月から 9 カ月連続の純流出で、純流出の最長期間を更新中である(これまでの最長は 2008 年 5 月~11 月までの 7 カ月間)。

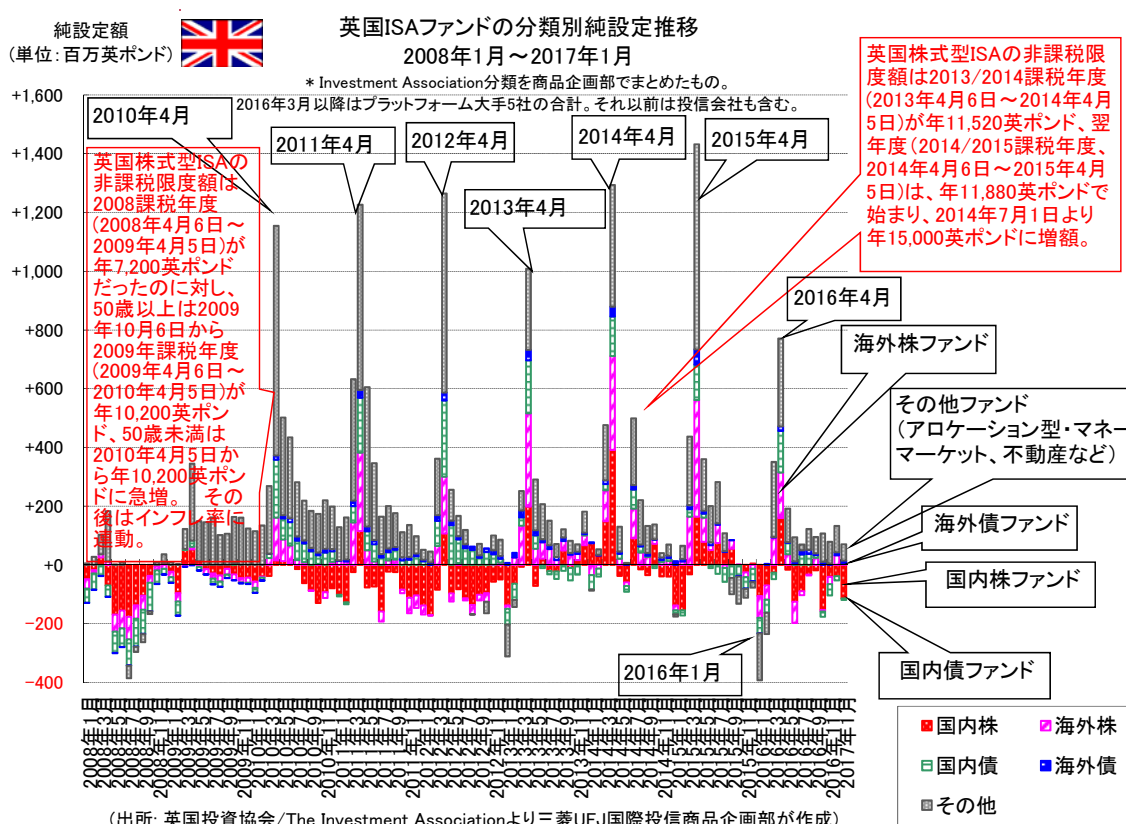


ISA ファンドを提供する主体別にみると、1 月の純流出の 8 割強は投信会社が提供する ISA ファンドによるもので -2.9 億英ポンドと 2015 年 5 月以降 1 年 9 カ月連続の純流出である。一方、プラットフォーム大手 5 社は合計 4900 万英ポンドと 2 カ月ぶりの純流出だった。

純流出が最長期間を更新する ISA ファンドだが、次頁のグラフを一見すると(英国の)国内株ファンドからの純流出が大きい様に見える。ただ、細かくみると、2014 年~2016 年に年間純流入最大は、国内株のなかの「英国高配当株(UK Equity Income)」であり、純流出最大が「英国株(UK All Companies)」だった(全 35 分類中)。さらに、2016 年に最大の純流入だった英国高配当株は 12 月に純流出となり、2017 年 1 月にかけて 2 カ月連続の純流出となっている。

純設定(純流出入)に占める分類に変化が起きている様である。それでは、2017年1月の純設定1位は何だろう。ファンド・プラットフォーム大手5社が提供するISAファンドで2017年1月に最も純設定額の多かったのは、**下記グラフでは「その他」に含まれるが、「ミックスインベストメンツ(株 40~85%、英ポンド 25%以上)/Mixed Investment 40-85% Shares(+16 百万英ポンド)**、次いで**「スペシャリスト/Specialist(+15 百万英ポンド)**」、「**ミックスインベストメンツ(株 20~60%、英ポンド 30%以上)/Mixed Investment 20-60% Shares(+11 百万英ポンド)**」だった

(*ファンド・プラットフォーム大手5社…コファンズ/Cofunds、フィデリティ/Fidelity Platform、ハーグリーブス・ランズタウン/Hargreaves Lansdown、オールド・ミューチュアル・ウェルス/Old Mutual Wealth~旧スカンジア/Skandia、トランザクト/Transact、5社だけで、プラットフォーム会社におけるISA販売比率は67%となる~2016年の年間ISA販売額)。



※2: スペシャリスト(Specialist)…主たるセクター分類に投資ユニバースがそぐわないファンド。スペシャリストに分類されるファンドは純資産で英国ISAファンド全体の約1.9%(2015年末時点)。さらなる詳細は英国投資協会のホームページを参照(URLは後述[参考ホームページ]⑧参照)。

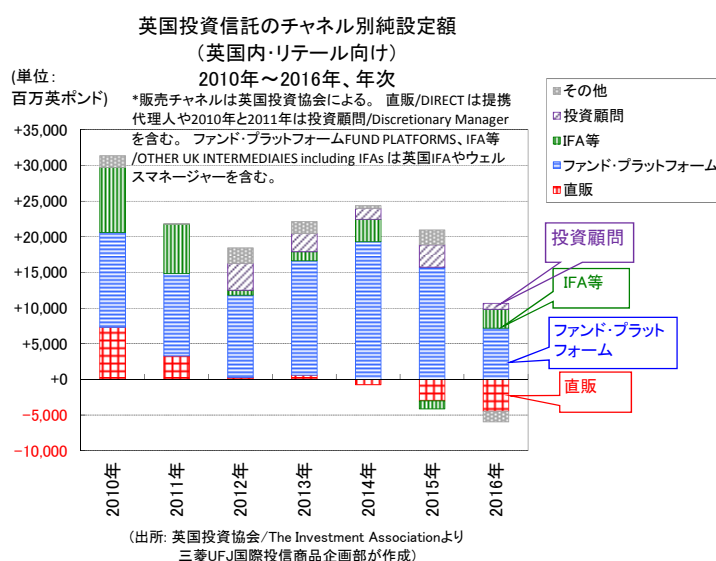
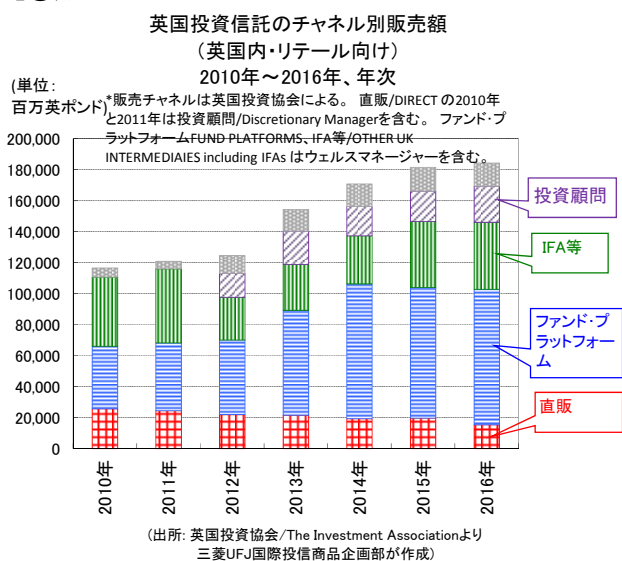
参考までに、ISAファンドを含む英国投信全体(英投資家が保有するオープン・エンド型投信とユニットトラスト)を見ておくと、その純資産は2017年1月末に1兆英ポンド(約149兆円)。個人投資家向け純設定額は+3.66億英ポンド(約481億円)と6カ月連続の純流入であった。**1月の純設定額を投資対象別に見ると、「絶対収益型(Targeted Absolute Return)+2.97億英ポンドの純流入。次いで「ストラテジック・ボンド(+2.29億英ポンド)」、「ミックスインベストメンツ株 40~85%(+1.75億英ポンド)」と上記、英国ISAファンドに近い感じである事がわかる。**つまり、先の英国ISAファンドの動向は、単に英国の個人投資家全体の動向と言えるかもしれない。

英国の個人投資家向け投信の2016年の純設定は、1995年以来、20年ぶりの低水準
 以上は月次で最新のものなので、次に年間で2010年から2016年の7年間のチャンネル別推移を見たのが下記
 グラフである(*英投信について左が販売額で右が純設定額)。2013年以降のファンド・プラットフォームの拡大が
 示されている。

2016年の英投信の年間販売額1842億英ポンドのうち、IFA等が432億英ポンド(23%)、ファンド・プラットフォーム
 が874億英ポンド(47%)、直販が155億英ポンド(8%)、投資顧問が232億英ポンド(13%)となっている。

2016年の英投信の年間純設定額+47億英ポンドのうち、IFA等が+26億英ポンドと2年ぶりの純流入、ファンド・
 プラットフォームが+72億英ポンドと7年連続の純流入、直販が-45億英ポンドと3年連続の純流出、投資顧問が
 +8億英ポンドとデータが公表されるようになった2012年から5年連続の純流入だった。

2016年の英国の個人投資家向け投信の純設定が落ち込んでいるが、これについて、2017年2月3日付ブル
 ームバーグは「2016年の英国の個人投資家向け投信の純設定は、1995年以来、20年ぶりの低水準に落ち込んだ
 (最新プリドハムレポート/Pridham Reportからの引用)。その中、健闘した投信会社では、ファンドスミスが+29億
 英ポンドと純流入最大で、フィデリティ、L&G、アビバが続いた。ブラックロックでは、流入が増えているのは絶対
 収益型の債券ファンド等だが、販売額の約5割はパッシブファンドである。プリドハム氏は、『保有するファンドの
 中核にパッシブファンドを選択する投資家が増えている』と語った。」と報じていた(URLは後述[参考ホームペ
 ージ]⑨)。



ISA ファンドの販売額で9割近くを占めるファンド・プラットフォームが再編

英国の投信販売額で5割、うちISAファンドの販売額で9割近くを占めるファンド・プラットフォームについて見る。
 英ファンドスケープ社の調査によると、**2016年7-9月期のファンド・プラットフォーム会社の金融商品全体の純設定
 額は+86億英ポンド(約1兆1309億円)とRDR(後述※3)が施行された2013年1-3月期以来の低水準だった**
 と言う。ファンドスケープ社CEOは「2016年7~9月期は例年、夏季休暇のため停滞するが、今年は予想以上
 に落ち込んだ。株式市場は上昇したが、英国の不透明な経済の先行きに投資家は極めて投資に慎重になって
 いる。ファンド・プラットフォーム上位5社のうち4社が保険会社傘下である。ボラタイルな環境で、保険会社が
 主導して今後さらなる統合が予測される。」と述べていた(URLは後述[参考ホームページ]⑩)。

※3: RDR…Retail Distribution Review/個人向け金融商品販売制度改革の事。2012年12月31日に施行され、IFAが投信会社等から得ていた信託報酬/販売会社分(トレール・コミッション)等を受け取れなくし、投資家から別枠で得るアドバイス・フィーだけにしたり、IFAに高い知識レベルの維持の要求をしたりする改革。2014年4月からはハーグリーブス・ランズタウン等のファンド・プラットフォームにも適用された。

前述したファンドスケープ社 CEO の発言通り、2016年12月29日にエイゴン/AegonがL&G(Legal & General)からコファンズ/Cofundsの買収を完了したと発表するなど、ファンド・プラットフォーム会社では再編が進んでいる様である。

英国ファンド・プラットフォーム預かり資産上位5
(ISAやSipps/Self-invested Personal Pensions/自己投資型個人年金等を含む) 2016年12月末現在

順位	ファンド・プラットフォーム 提供会社	資産 (Assets)		備考
		億英ポンド	兆円	
1	コファンズ/Cofunds	837	12	2016年12月にLegal & Generalからエイゴン傘下へ。
2	フィデリティ・ファンズ・ネット ワーク/Fidelity Platform	715	10	
3	ハーグリーブス・ランズタウン / Hargreaves Lansdown	700	10	
4	スタンダードライフ /Standard Life	442	6	2016年5月、仏大手保険アクサから「Elevate」買収。 2017年3月、アパディーン・アセット買収に向け協議中と公表。
5	オールド・ミューチュアル /Old Mutual	427	6	
19社の合計*		4,888	71	

(出所: 英ファンドスケープ社より三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成。一部推計含む。)
*ファンドスケープ社の調査はファンド・プラットフォーム19社の合計で全体の98%を占めると推測される。

英国ファンド・プラットフォーム2016年(1-12月)資金純流入上位5
ISAやSipps/Self-invested Personal Pensions/自己投資型個人年金等を含む。 2016年12月末現在

順位	ファンド・プラットフォーム 提供会社	資金純流入 (NET SALES)		備考
		億英ポンド	億円	
1	ハーグリーブス・ランズタウン / Hargreaves Lansdown	+56	+8,092	
2	エイゴン/Aegon	+56	+8,092	預かり資産は前期比+26%と大幅増。 2016年12月にコファンズを買収。
3	スタンダードライフ /Standard Life	+46	+6,647	
4	アビバ/Aviva	+35	+5,058	2015年に英保険会社フレンズ・ライフを買収。
5	チューリッヒ/Zurich	+33	+4,769	
19社の合計*		+383	+55,345	

(出所: 英ファンドスケープ社より三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成。一部推計含む。)
*ファンドスケープ社の調査はファンド・プラットフォーム19社の合計で全体の98%を占めると推測される。

以上だが、「第三のISA」、「第四のISA」と、次々、ISAのイノベーティブな拡充に動く英国政府であるが(*英FCAは2014年10月からProject Innovate/プロジェクト・イノベーティブを掲げている)、その承認や準備が遅れており、「第二のISA」まで不調となっている。それも、ISAの主役であるファンド・プラットフォームの再編も進んでいる。こうした英国のISAを範としているのが日本のNISAである。RDR等の金融規制でも先行する英国で今、何が起きているか、日本は官民揃ってそれを注視、それを教訓として、今後のNISA拡大、資産形成に繋げてほしいものである。

以上

[参考ホームページ]

- ①2017年3月3日付FT紙「Where can I get the new Lifetime Isa?」…
「<https://www.ft.com/content/a487303e-fe6f-11e6-96f8-3700c5664d30>」、
- ②2016年3月22日付日本版ISAの道 その136「英国の職場積立ISA/ワークプレイスISA
～DC、SAYE/定期積立貯蓄制度、SIPs/株式奨励制度を補完して拡大し、今後は年金版ISA、ライフタイムISA
の道～」…「http://www.am.mufg.jp/text/oshirase_160322.pdf」、
- ③2016年10月3日付日本版ISAの道 その158「NISAに関する主な税制改正要望の理解
～2018年問題対応、「長期・積立・分散投資」をすすめたい金融庁の積立
NISA(英国ではライフタイムISA)、ジュニアNISAの引き出し年齢制限緩和、
スイッチング可による投信の保有期間長期化～」…「https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_161003.pdf」、
- ④2015年3月30日付日本版ISAの道 その95「総選挙間近の英政府がISAの大きな制度改革を発表! 年度
内なら出し入れ自由で、対象商品拡大、そして「Help to Buy ISA」と言う補助金付住宅資金貯蓄も!!」…
「<https://www.am.mufg.jp/text/150330.pdf>」、
- ⑤2015年11月2日付日本版ISAの道 その119「フィンテックの衝撃! 「本家」英国で第三のISA、イノベティ
ブ・ファイナンスISAが2016年4月から開始!!」…「<https://www.am.mufg.jp/text/kam151102.pdf>」。
- ⑥2016年11月28日付日本版ISAの道 その164「積立NISAに先行する英ライフタイムISA/LISA!(ISAファミ
リ―「第四のISA!」) 「Help to Buy ISA」より増える可能性!!
「第三のISA」、イノベティブ・ファイナンス型ISAは今…。」…「https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_161128.pdf」、
- ⑦2017年2月22日付FT紙「Innovative Finance Isas dogged by further delays」…
「<https://www.ft.com/content/011088d6-f2d2-11e6-95ee-f14e55513608>」、
- ⑧2017年3月3日付英国投資協会/The Investment Association 2017年1月英国投資家動向統計…
「<http://www.theinvestmentassociation.org/media-centre/press-releases/2017/press-release-statistics0117.html>」、
セクター分類「<http://www.theinvestmentassociation.org/fund-sectors/sector-definitions.html#undefined>」、
- ⑨2017年2月3日付ブルームバーグ「U.K. Net Retail Fund Sales in 2016 Lowest Since 1995: Pridham」、
- ⑩英ファンドスケープ社…「<http://fundscape.co.uk/>」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付日論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。